

[14_1] 図書館情報 : 九州大学附属図書館報 :
14(1)

<https://doi.org/10.15017/18306>

出版情報 : 図書館情報. 14 (1), pp.1-5, 1978-03-31. 九州大学附属図書館
バージョン :
権利関係 :

図書館情報

1978.1~3

The Kyushu University Library Bulletin

Vol. 14, No. 1

九州文化史研究施設の所蔵史料(二)

— 石本文書について —

黒田 安雄

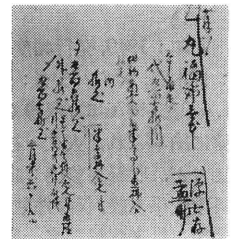
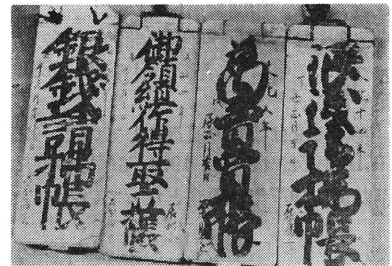
文学部附属九州文化史研究施設所蔵の「石本文書」は、江戸時代天領であった肥後国天草郡御領村(現在熊本県天草郡五和町)石本家の旧蔵文書である。石本家は御領村の旧家で代々当主は勝之丞を襲名し、分家当主は代々平八郎を称したが、これら両家の二万点にも及ぶ歴大な古文書は江戸時代後期より明治に至る九州における商家経営・商品流通の構造的特質を窺うに足る貴重史料である「石本文書」の内容の一端は、『九州文化史研究所紀要』第三・四合併号所収の「共同研究・天草郡御領村石本家の研究」と「石本家文書目録抄」によって通観できるが、ここでは江戸時代後期の石本家の存在形態に則して石本文書の特色を述べてみよう。

石本家は文化六年頃の同家文書「乍恐御内々奉願候口上書」に、「私元祖治兵衛儀は元長崎平戸産の者にて、同町乙名石本幸四郎先祖の別れにて、寛永の頃天草郡御領村え引越住居仕、百姓を業として是迄安穩にて相続罷在候」とされていることから、はじめ商業資本をもって天草に来住したものらしく、次第に土地を兼併し、酒や醤油の醸造業を営み、榎実の買入れによる蠟絞り、棉実の買入れ、質屋営業による利子の取得などで村方商人として成長したのである。その経済活動は天草郡内および島原・柳河藩領内における土地経営のみならず、船持商人として天草・九州各地・瀬戸内・大坂との廻漕業にあたり、また榎実・芋・蠟・塩等の取引問屋、天草郡内および他国への銀貸、両替・貢租請負の掛屋を営み、さらには薩摩藩の琉球産物・相良藩の芋などの諸国産物の取扱いや長崎での唐紅毛荷物入札商売を行い、ついには天保五年二月幕府勘定所御用達にも就任したのであった。

したがって石本文書の特徴は第一に商業や金融の経営関係の帳簿が大量に存在し、同家の経営が多角的になるに応じて、「田畑作得請取帳」・「塩請取覚帳」・「船方算用帳」・「船勘定控帳」・「榎実買入帳」・「酒売帳」・「当座帳」・「万売買控帳」・「日傭帳」・「銀貸帳」・「質貸帳」・「金銀銭出入控帳」・「銀銭請払帳」等各種の経営帳簿が残されていることである。すでに享保年代より「質貸帳」・「銀貸帳」が各年にわたって存在し、その後明和・安永年代に入ると「酒売帳」・「万売買帳」・「榎実買入日帳」・「船帳」等の諸帳簿が殆ど揃って残っているのであって、これら一連の帳簿類は天草における商業・高利貸資本の動向や西南日本の物価の変動を体系的に窺うのに好箇の史料であろう。

石本文書の第二の特徴は、大量の往復書簡類がほぼ纏った形で残存していることである。このことは石本家が文化・文政から天保期にかけて薩摩・相良・肥後・柳河・島原等の諸藩や長崎会所と国産物の取引、交渉にあたったことからすれば当然のことであるが、これらの書簡類を詳細に検討することによって、江戸時代後期の九州諸藩の経済事情や財政政策等のみならず幕府の対外貿易を直接管掌した長崎会所の動向等、いわゆる藩政史料では窺うことのできない経済的権益をめぐる幕府と九州諸藩の葛藤を如実に知ることができる。

(九州文化史研究施設助手 くらだ・やすお)



二次資料解説 (その2)

雑誌記事索引：科学技術編 (国立国会図書館)

創刊年：1950，発行頻度：季刊(1977年現在)，使用言語：日本語(国内発行の欧文誌を含む)，タイムラグ：6～12カ月，収録対象文献数：1,279誌(1976年)，収録対象文献の種類：国立国会図書館に納本されたもので，科学技術関係の雑誌，紀要，学会誌，企業体の研究報告が中心である。したがって採録される記事は，学術論文，研究報告，資料などが多い。収録対象国：日本国内，収録分野：自然科学全般(各号ははじめの分類表参照)，収録件数：約69,000件(1976年)，索引の種類：号末収録誌名一覧，年間索引(著者索引，件名索引，分類表，収録誌名一覧)。なお，別冊の年間索引は，1974年以前には発行されておらず，著者索引等はないので，検索には不便である。

発行頻度は数回の変遷をしていて，1950—1952年，1961—1974年は月刊，1975，76年は半年刊，1953—1960年および1977年は季刊となっている。

雑誌記事索引：人文・社会編 (国立国会図書館)

創刊年：1949，発行頻度：季刊(1977年現在)，使用言語：日本語，タイムラグ：6～12カ月，収録対象文献数：1,623誌(1976年)，収録対象文献の種類：国立国会図書館に納本された人文・社会科学関係の雑誌，紀要，学会誌など，収録対象国：日本国内，収録分野：人文・社会科学関係全般，収録件数：約66,000件(1976年)，索引の種類：号末収録誌名一覧，年間索引(著者索引，件名索引，分類表，収録誌名一覧)。なお著者索引は，1960年以前に発行されてなくて，別冊で刊行されるようになったのは，1962年からである。

発行頻度については，上記「科学技術編」と同様，数回の変遷をしていて，1949—1952年，1962—1974年は月刊，1975，76年は半年刊，1953—1961年および1977年は季刊となっている。

鉄道技術文献抄録 (鉄道技術研究所)

創刊年：1959，発行頻度：月刊，使用言語：日本語(外国文献については原文の標題を付している)，タイムラグ：4～9カ月，収録対象文献数および種類：鉄道技術研究所報告および国内雑誌約140誌，外国雑誌約210誌(収録資料は表紙裏にリストされている)，収録対象国：日本国内および世界の主要国(英，米，仏，独，露等)，収録分野：鉄道技術全般(輸送，運転，保安，土木，建築，電気，車両，その他関連分野)，収録件数：3,644件(1976年)。

Bibliography of Agriculture (National Agricultural Library, U. S. Dept. of Agriculture)

創刊年：1942，発行頻度：月刊，タイムラグ：3～8カ月，収録対象文献数および種類：National Agricultural Libraryが収集した世界各国の資料で，雑誌，政府刊行物，単行本，会議資料など(雑誌については，約1,300誌を対象としている。雑誌リスト参照)，収録分野：農学およびその関連分野(目次参照)，収録件数：約12万5千件(1976年)。

全体の構成は，主として，Main Entry Section(記事索引)，Geographic Index, Corporate Author Index, Subject Index, Personal Author Indexの5部門から成っている。Main Entry Sectionの各カテゴリー内では，各項目の配列は略誌名アルファベット順になっているが，これは，アプローチの仕方として，件名および著者名からのアプローチについてはそれぞれの索引によって可能であるが，それに加えて，誌名からのアプローチをも可能にするためである。なおGeographic Indexとは，必ずしも著者あるいは資料発行の国をいうのではなくて，論文の主題に最も密接に関連のある国を意味する。

Physics Abstracts, Science Abstracts Ser. A (Institute of Electrical Engineers) (英)

創刊年：1898，発行頻度：半月刊，タイムラグ：3～6カ月，収録対象文献数および種類：逐次刊行物，レポート類，単行本，特許，学位論文，会議資料など，約420種，収録対象国：米，英，独を中心に38カ国(日本のものでは，Japanese Journal of Applied Physics, Journal of Physical Society of Japan, Progress on Theoretical Physicsの3種が含まれている)。

収録分野：物理学全般(各号のはじめの主題分類表を参照)，収録件数：約9万5千件(1976年)，索引の種類：Author Index, Small Index, Subject Indexの3種類が，号末，半年間，4年間の各収録期間ごとに発行されている。なお，Small Indexとは，Bibliography Index(一定の主題についての，ある程度の参考文献を備えた論文のリスト)，Book Index(収録対象となった単行本のリスト)，Conference Index(収録対象となった会議資料の会議リスト)，Corporate Author Index(収録対象となった文献の発行に対して，主として責任を負うところの団体——各種研究所，政府機関など——のリスト)の4種類からなる特殊な索引である。

Science Abstractsには，ほかにSer. B: Electrical & Electronics AbstractsとSer. C: Computer & Control Abstractsがある。

九州大学法学部参考図書目録欧文編

1977年版について

落 石 清

本学洋書目録法に英米目録規則が採用され、今後ほぼ統一された標目の選定が可能となった。標目選定の特別規則にあてはまる法律関係出版物を多数所蔵している法学部においては、幸か不幸か、カード目録編成上重大な決定と言わなければならない。過去に受け入れられた洋書約10万冊の不統一を愁い、一大決意のもとに点検・修正を実施せずにはいられなかった。特に法令資料の形式標目化に重点を置き、今まで、旧法体系にもとづく分類表の性格から集約できなかった幾つかのシソーラスもふくめながら10万冊を洗い直し、約15,000点・600頁余を編纂したものが本参考図書目録である。

本目録の特徴は法律学政治学が中心で、法令資料僅少国はテキスト類も加えた。法令集・注釈書・法律草案・立法過程・法典編纂・裁判例集等は立法権所在単位（国・州・地方・都市・国家・共同体・宗教組織等）で区分し、COMMON LAW CASESは性質上件名にもとづいた。また条約・議会録・会議・シンポジウム報告書・人物文献目録（書名中に現われた人名を網羅）・記念論文集・全集・伝記・研究案内書等をも法政参考図書とみなし、一般参考図書に加え、分類の欠陥から散在している資料を集約し、所蔵の限りを網羅した。

完成の結果として法学部の蔵書構成が当然顕著に現われ、創立当時超一流のスタッフより蒐集された未曾有の資料が異彩を放ち、全国研究者垂涎のまどである。

本目録の目的として法学部蔵書をより多角的視野から縦横に活用をはかる意味で編纂しているために、法政以外の分野での使用には検索し難いかもしれないが、全国有数の法政専門図書館である以上内容から一応ある程度のレファレンスツールとしての価値はあろうし、単に一部局の蔵書目録としてのみならず、ユニークな法政文献目録として使用が可能であろう。このような世界各国語文献を総合したツールとしては法政分野では類を見ないし、特定分野の基礎資料のみではあるが、研究者にとっては便利なものであると自負している。

(法学部図書掛長 おちいし・きよし)

法学部図書室に参考図書コーナー設置

文献検索にはそれに必要なツールの整備が要求されるが、これまで、法学部では、参考図書類が書庫等に散在していたため、研究者をはじめ図書職員でさえ文献検索に時間的ロスを余儀なくされていた。

今年2月、図書室と書庫との間の約1スパンにスライド式二重スチール書架を設置し、法律・政治関係の参考図書（書誌・書目・抄録・索引・研究案内書・辞典・年鑑・六法等）約1,200冊を集中配架した。

このコーナーの設置により、めざす文献への接近がより迅速・スムーズになり好評を得ている。これを契機に全学の情報網と連携して、より活発なレファレンスサービスをすすめていきたいと考えている。

(法学部図書掛)

大学図書館職員講習会に参加して

札 ノ 内 実

時：昭和52年11月8日～11日

所：大阪大学附属図書館吹田分館

西日本地区の大学図書館から、中堅職員約100名が参加して、表記の講習会が行われました。講義日程及び内容は次の通りです。

11月8日：大学図書館の使命（山田信夫，大阪大学文学部教授，附属図書館長）研究者の図書館への期待（自然科学系）（三川礼，大阪大学工学部教授，吹田分館長）研究者の図書館への期待（社会科学系）（杉原四郎，甲南大学経済学部教授）

11月9日：専門職能としての大学図書館員（岩猿敏生，関西大学文学部教授）書誌調整の国際的標準化の動向（小田泰正，国立国会図書館総務部司書監，業務機械化室長）我国における書誌調整の標準化（田辺広・千葉大学附属図書館事務部長）

11月10日：大学図書館における参考調査活動（長沢雅男，東京大学教育学部助教授）学術情報のオンライン検索（及川昭文，筑波大学電子情報工学系教授，計算センター長）

11月11日：米国における図書館活動（森岡祐二，広島大学附属図書館学術情報係長）

今回の講習はそのほとんどが，現代の図書館界の大きな流れである“機械化”ということに関係があったということができる。その中で特に「国際的書誌調整の標準化の動き」について，小田，田辺両講師による講義内容から簡単に触れてみることにします。

IFLA (International Federation of Library Associations：国際図書館協会連盟) が1974年に発表した ISBD (International Standard Bibliographic Description：国際標準書誌記述) は1961年のパリ目録原則からは大幅な改正であった。標目の在り方についての国際規準がパリ目録原則で決められたのであるが，ISBD は，標目でないところの記述についてのそれであった。この大幅な改正の原因は，近年，印刷カードの普及と，特にアメリカを中心とする機械による書誌情報の処理がめざましく進展をとげたことである。日本目録規則1977年版は，この ISBD に則り近く刊行される運びとなっているといわれている。

その後1977年，IFLA は UNIMARC (Universal MARC：世界機械可読目録) を母体にして，各国の言語の違う書誌を同じプログラムで処理できるような標準化されたフォーマットがつけられたわけである。日本では Japan MARC が国会図書館で現在検討中であるが和書，その中でも漢字をいかに機械に組み入れるかということが，以前からの問題としてあったのだが，結局，見出しにはカタカナを使うことになったということである。

その他，ISDS (International Standard Data System：国際標準資料制度) は逐次刊行物を国際的に登録し，一連の番号，ISSN (International Standard Serial Number：国際標準逐次刊行物番号) を与えたもので，この制度が広く普及すれば，機械化されたシステムにおいて極めて有効な情報処理が可能となるものである。

翌日，3日目の筑波大学及川講師による「学術情報のオンライン検索」という講義では筑波大学にあるデータベース“IDEAS77”から電話回線を通じて大阪で情報検索をしようとする場合の実習があった。“いつでもどこでも，誰もが，簡単に必要とする情報を入手できる”。ということで，電話回線に繋いだ端末を叩くことにより，即回答が出てくるという，今までの常識では考えられない機械文明の粋を見て驚き入った次第である。

実習で私の番になったとき，「京都の名所は？」という設問で情報検索をしてみました。講習が終わった後，京都をぶらっと回って帰りたいという個人的な願望をこめて，端末をまず“Japan”続いて“Kyoto”を叩き，“名所”というキーワードを探しましたが仲々見つからず，結局講師の指示で“Out Look”を叩きました。ところが“キョウトハニホンジンノココロノフルサトデ，フルクカラミヤコトシテサカエテキマシタ”という一文が出てただけでした。前の人の「大阪府の人口は？」という問には，正確な数字がさっとでてきたが，私の問に対しては機械はこちらの予想した答えを出してくれませんでした。機械のすばらしさに目を見張ると同時に機械の未熟さと融通のきかなさに思いあたられました。私たちは決して機械を過信することなく，あくまで機械を使いこなすのは人間であるという基本姿勢を忘れずに迫りくる機械化時代に対処しなければならないと思います。

尚，九大から私のほかに次の3名が参加しました。

井手公東（教養部閲覧掛），緒方義信（経済学部図書掛），穴見一博（教育学部図書掛）

（中央図書館参考掛ふだのうち・みのる）

— 本学教官著作寄贈図書 —

〈中央図書館〉

春日 和 男 (文学部教授)

新 編 国語史概説

昭和53年 有精堂 ¥1,800

目 録

(53年1～3月)

会議等

- 1.11 会計事務部内監査
- 2.24～27 図書系職員研修「近世古文書の解説と演習」
- 3.10 図書館情報編集委員会
- 〃30 図書系掛長研修会

来館者

- 1.17～18 産業医科大学附属図書館 宮本司書
- 19 鳥取大学附属図書館 平田, 稲垣司書
- 20 大阪大学附属図書館 東事務部長
- 21 広島大学附属図書館 森岡係長
- 24 文化庁 三輪文化財調査官
- 25 名古屋大学附属図書館 幾代, 辻掛長
- 27 農林省統計情報部図書資料室 福田係長
- 〃九州農政局福岡統計事務所 森事務官
- 30 広島大学附属図書館 赤坂, 関根係長
- 〃筑波大学 富江講師 他2名
- 2. 2 東京外大 村田企画係長
- 〃広島大学 坂井教務課長

- 2. 3 慶応義塾大学 津田教授
- 〃 京都産業大学 横山整理係長
- 4 横浜国立大学 稲垣事務局長, 山庶務課課長補佐
- 8 浜松医大 山本係長, 山下事務官
- 14 大阪大学附属図書館 井上閲覧課長
- 21 鳥取大学 中王子庶務部長
- 23 大阪外大 出口事務長
- 27 熊本大学附属図書館 川口係長
- 28 埼玉大学 小野崎, 早稲田係長
- 3. 4 文部省学術国際局 松村学術調査官
- 〃 宮崎医大 鮫島教務部長, 小野図書課長
- 9 広島大学附属図書館 田川閲覧主任
- 〃 大阪市立大学 佐野事務長
- 13 東北大学附属図書館 長尾事務部長 他3名
- 14 横浜国立大学附属図書館 吉岡整理課長, 筒井閲覧課長
- 16 神戸商科大学 松野係長
- 18 東京大学附属図書館 蓑原総務課長
- 22 文部省学術国際局情報図書課 田中専門員, 栗原事務官
- 〃 岡山大学附属図書館 金森運用主任
- 28 都城工専 舟越図書係長

編集委員 主査・岩井 昭三 委員・重松多喜造, 中野 周行(中央図書館), 朝倉 一(医学分館)
平川 友視(教養部分館), 堺 弘(経), 岸本 澄夫(理)

九州大学附属図書館報「図書館情報」Vol. 14, No. 1 (通巻110号)

1978年3月31日発行・発行人 岡田 六郎

発行所 九州大学附属図書館・福岡市東区箱崎6丁目10番1号*〒81121・電話代表(641)1101内線5310